

グラントフ応援団通信

平成29年

10月14日発行

第48号

写真展『今福優×太田章彦』を見て

思い出した “ 太鼓騒動 ”

いわみ芸術劇場館長 若槻真治

ボランティアのみなさんこんにちは。ホールや美術館、グラントフ全体でいつもお世話になり、ありがとうございます。「グラントフ応援団通信」の紙面をいただいたので、今回は、ある“騒動”について話してみたいと思います。皆さんのこのことについてご存知の方は、おそらくほとんどおられないと思いますので…。

と言いますのも…2014年12月、今福座のみなさんと中国へ演奏旅行に行ったのですが、そのときの太鼓の運搬がめちゃめちゃ大変で、大概のことは何とかなるかと考える楽天主義者の私です。さても一度はあきらめかけたくらいに追い詰められたのです。しかし、それでもどうにか公演してもらったことができ、それが大成功だった、めでたし、と言つ話です。

かれこれ3年前のことです…島根県と吉林省との友好提携20周年記念事業として、吉林省長春市で島根県を紹介する事業をすることに、文化国際課で検討した結果、最終的に今福さんに太鼓の演奏をお願いすることになりました。今福さんには快く引き受けていただいたので、次の問題は太鼓をどうやって中国まで運搬するか、でした。

この段階で12月中旬に予定していた公演の半年近く前で、文化国際課では、国際貨物の運搬にも実績のある某超有名運送会社に運搬も依頼して安心していました。そして2ヶ月くらい前に公演日程も決まり、今福座さんと運送会社で具体的な運搬の段取りも話し合ってもらい…ここまででは順調に進んでいた訳です。ところが残り3週間を切った段階で雲行きが怪しくなってきました。船舶での運送は困難、貨物機も難しい、手荷物で持っていくしかない…と言いに来られて、「はあくそれを確認した上で太鼓の運搬の段取りをしておられたのではないですかあ〜?」。そしてついに「手荷物も難しい」と…。「エエッ！一体どうなっているのですかー」と、ついに担当の千晶さんも爆発（怒！怒！怒！）。それから中国瀋陽市の日本総領事館に相談したり、現地の日本人会で太鼓を借りられるところがないかどうか探したの



公演が行なわれた東北師範大学構内。マイナス20度。(吉林省長春市)

ですがそれもダメで、公演中止も考えざるを得ない状態でした。これがなんと、公演10日前ぐらいいのことです。

(中略)運送の問題は、自分たちで動いて、結局、某航空会社に頼んで広島〜ソウル〜長春の便に載せていただけることになり何とか突破。これが1週間前。太鼓(大太鼓2、中太鼓3その他)も某運送会社の浜田支店で梱包して、トラックで広島空港まで運んでもらえるはずなのでやれやれ、でした。ところがいざ出発当日、広島空港で待ちかまえて太鼓を降ろすと、今度は、何とその梱包が今福座さんの指示通りにできていないではありませんか。そこでもう一度梱包を解いて、広島空港玄関の雪の降る中でのやり直し作業、飛行機出発時間がきても終わらない作業…。

(後略)文字数を超えましたのでこれで終わりです。この後はいずれまた。

結局、長春師範大学ホールでの公演は素晴らしく、中国の若者たちの大喝采を浴びました。きつと、イメージしていた日本の伝統芸能とは一味違う今福座の太鼓に、みなさんが興奮してくださったのだらうと思います。太鼓と芸術は国境を超える、です(結論)。

グラントワボランティア会

県西部の芸術文化の拠点としてスタートしたグラントワも開館12年となりました。ボランティア活動もその内容の移り変わりに合わせグループの再編成など行い、グラントワへ来館する方々のおもてなしにボランティア会の全員で心を尽くしています。

ここでは最近のグループ別の活動の概要を紹介します。以下の12のグループで編成しています。

イベントグループ

イベントの企画・運営・宣伝等。

毎月第1木曜日19時より会議を開催。

美術館ワークショップグループ

石見美術館の企画展・コレクション展・特別展での支援。

劇場ワークショップグループ

いわみ芸術劇場主催公演に関連する支援（舞台塾や子どもの活動プログラムの衣装や小道具製作など）。

神楽衣装グループ

子ども神楽（石見神楽週末公演へ提供）・益田糸操り人形（不定期）の衣装製作。

毎月第3水曜日13時より活動。

放送グループ

いわみ芸術劇場主催公演の館内放送。

フロントグループ

いわみ芸術劇場主催事業（グラントワシアター含む）のチケットもぎり、場内案内・監視等を行う。

毎月第1水曜日19時より会議・自主研修を開催。

ギャラリートークグループ

石見美術館コレクション展での案内。土・日・祝日の午前・午後。

映画グループ

グラントワシアター（月1回）の企画・運営。平成30年度より新たな活動を検討中。

クリーンアップグループ

グラントワ敷地内の除草などの清掃。

生花グループ

回廊・トイレなど館内28か所に生花を飾る。毎週金曜18時30分より活動。5月より10月は火曜10時から活動。

発送グループ

グラントワ関連印刷物の発送作業。ホール友の会・共通カード会員宛は毎月27日。パスポート会員及び美術館関連施設宛は企画展毎の実施。

情報発信グループ

グラントワ応援団通信の編集発行。

新聞6紙のグラントワ関連記事のスクラップ。ボランティア会のホームページ管理等。毎月第

1・3火曜18時より活動。

少しでも興味を持ってそうなボランティアに余暇を使って参加して見られませんか。新しい出会いとつながりが日々の生活の潤いとなることでしょう。

活動によってポイントがたまると特典を受けられる制度や、必要な

活動にはユニフォームも準備されています。

活動内容の詳細につきましてはボランティア事務局（0856-31-1860）までお問い合わせください。

あ と が き

掲載の写真は、昨年11月にボランティア研修旅行で三次市の「市民ホールきりり」を訪問した時の集合写真です。こちらと奥田元宋・小由女美術館の職員やボランティア会員の方々との意見交換の場を通じて、芸術文化施設での重要なスタッフとしてのボランティアの地域貢献活動について情報交換し、大いに今後の参考とすることが出来ました。

応援団通信、今回はボランティア特集ページにての編集発行となりました。ボランティアを趣味に例える方もおられます。ひとつ増えるのと日々の多様性も広がりますね。

次号は来年3月のN響コンサートほかの記事をご紹介の予定です。お楽しみに。（陽竊）



三次市民ホール